

令和5年4月17日

関税局長  
諏訪園 健司 殿

日本税関労働組合  
〔税関労組〕  
中央執行委員長 倉本 和邦



## 2023 春季生活闘争に関わる要求書

わたしたちは、公務・公共サービスの役割が一層高まる中、国民の期待に応えるため、それぞれの持ち場で日夜自らの職務に全力を尽くしています。しかし、その勤務環境は、定員の合理化が継続的に行われるなか、業務の遂行に必要な要員が恒常的に不足しており、厳しいものとなっています。

新型コロナウイルス感染症が、日常生活に多大な影響を及ぼしている状況にあって良質な公務・公共サービスを確実に提供していくためには、職員が安心して働くことができる勤務環境が必要であり、人材確保の観点からも、賃上げによる処遇の改善だけでなく、「働き方改革」をより一層推進することも求められています。そのためには長時間労働の是正、ハラスメントの防止対策は喫緊かつ重要な課題です。

こうした中、連合傘下の公務労協・公務員連絡会は、去る2月20日に内閣総理大臣、同月22日に人事院総裁あてに賃金、労働条件、新型コロナウイルス感染症対策、ワーク・ライフ・バランス、障害者雇用、女性の労働権確立、定年の段階的引上げに伴う各種施策、ハラスメント対策、公務員制度改革を柱とする統一要求書を提出しました。

税関労組は、連合・公務労協・公務員連絡会・国公連合での諸行動に積極的に参加し、組合員の勤務条件の向上をめざした取組みを強く進めていくとともに、第62期運動方針にもとづき、税関労組における春闘期の具体的取組みを決定しました。

貴職におかれましては、別記事項の実現に向けて、特段の努力を払うよう要求します。

## 記

- 1 定員の確保及び職場・生活環境の改善・充実に努めること。なお、定員確保の要求にあたっては、税関業務の特殊性を鑑みること。また、職場・生活環境の整備にあたっては、職員の意見を聴取し、十分に配慮すること。
- 2 税関職員の処遇向上に向け、級別定数の拡大等を関係機関に働きかけること。
- 3 夏季休暇取得可能期間が拡大されるよう関係機関へ働きかけること。
- 4 組合員の負担軽減及び処遇改善を図るため、超過勤務手当、寒冷地手当、通勤手当、地域手当、犯則取締等手当、赴任旅費が支給または改善されるよう関係機関に働きかけること。
- 5 公務に必要な寮・宿舎については、必要な戸数を確保するとともに、経年による老朽化等の環境整備が必要な寮・宿舎については、予算確保や関係機関への働きかけに努めること。
- 6 労働時間の短縮、休暇・休業制度等の改善・拡充を図るために、業務改善やテレワークなどの導入について取り組むこと。
- 7 障害者雇用にあたっては、障害者及びその周りの職員が働きやすい職場となるよう職場環境の整備等適切に対応すること。
- 8 「財務省女性職員活躍とワークライフバランス推進のための取組計画」及び女性活躍推進法における行動計画を進めるにあたっては、数値目標のみにとらわれることなく、職場の実情や職員構成及び職員個々の身上や希望を尊重し無理なく実施すること。
- 9 高齢期の職員が不安を感じることなく仕事に従事できる環境を整備し、生活を支える給与水準と適切な労働条件が確保できるよう関係機関に働きかけること。
- 10 メンタルヘルスに問題を抱える職員が後を絶たないことから、その解決と管理者の意識改革に努め、必要な心の健康診断、カウンセリングや試し勤務など復職支援施策を着実に実施すること。
- 11 各種ハラスメントは、職場環境を悪化させるだけでなく、職員のメンタルヘルスにも悪影響を与えるため、ハラスメント対策の確実な実施に努めること。